

# 令和4年度 医療安全セミナー（実施要領）

厚生労働省近畿厚生局

## 1 目的

医療安全対策に関する知識等の修得、討議等を行うことにより、医療機関の安全管理者等の資質向上を図り、もって医療の安全性の向上を図ることを目的とする。

## 2 主催者

厚生労働省 近畿厚生局

## 3 開催日時

令和4年11月17日（木）9時00分～17時15分

## 4 開催方法

- ① オンライン形式（Zoomによるライブ配信）で行う。
- ② 前半は講義、後半にパネルディスカッションを実施する。
- ③ チャットシステムで受講生からの質問等を受け付けることとし、後半のパネルディスカッションの各講演に質疑応答時間を設ける。
- ④ 受講生ごとのログイン・ログアウトの時刻を記録し、出席状況を確認する。

## 5 内容

「令和4年度 医療安全セミナー」プログラムのとおり（別添）

## 6 対象者

- (1) 当局管内の医療機関において、医療安全管理体制の中心的役割を担う下記の者。
  - ① 管理者（医療機関における管理者）
  - ② 医療安全管理者（医療機関全体の安全管理を担当する実務者であって、専任、兼任は問わない。）※ 医薬品及び医療機器の安全管理責任（担当）者、その他医療安全に関する業務に従事する者を含む。
- (2) 当局管内の府県及び保健所設置市区において、医療安全に関わっている者。

## 7 受講定員

1000名

## 8 受講申込み及び受講者の決定等

受講希望者は、当局ホームページの「受講申込フォーム」より申込手続を行う。

(1) 申込期間

令和4年9月16日(金)から11月10日(木)まで

※ 受講定員数に達し次第、申込を締め切る。

(2) 受講者の決定

申込手続の完了後、受講希望者に対して当セミナーに参加するためのURL等を示した招待メールを送信する。

## 9 受講証書の交付

(1) 受講証書は、次の要件を全て満たした者に対して交付する。

なお、当セミナーは、診療報酬制度の医療安全対策加算の施設基準における「不足する事項を補足する研修」に相当する。

① 受講申込をした者のうち、全ての課程を受講したと確認できる者

② 当セミナー終了後、下記10のアンケートに回答した者

(2) 受講証書の交付を希望する者は、受講証書交付申請書及び120円切手を貼付した返信用封筒(角2サイズ)を当局あてに郵送する。

(3) 交付希望者に対して、返信用封筒により受講証書を郵送する。

## 10 アンケートの実施

次年度の開催に当たっての参考とするため、受講者を対象にアンケートを実施する。

アンケートには、受講証書発行希望の有無と、希望有の理由を問う項目、理解度確認のための項目を含める。

## 11 個人情報について

開催に際して、参加者から入手した個人情報は、当セミナーに係る事務連絡等の運営目的以外には利用しないものとし、漏洩、滅失又は破損等のないように厳重に管理するものとする。また、統計分析に用いる場合には、個人名及び施設名を特定できない形とする。

## 【プログラム】令和4年度 医療安全セミナー

### 「多職種チームによるレジリエンスの発揮」

開催日：令和4年11月17日(木)

開催方法：オンライン形式  
(Zoomによるライブ配信)

時間	プログラム
9:00～9:05 (5分)	オリエンテーション
9:05～9:10 (5分)	開会挨拶 桐生康生 厚生労働省 近畿厚生局長
第1部：講演	
9:10～9:25 (15分)	1. 医療安全施策の動向 梅木和宣 厚生労働省 医政局総務課 医療安全推進室長
9:25～10:25 (60分)	2. 医療事故調査制度について 木村壮介 一般社団法人 日本医療安全調査機構 常務理事
10:25～10:35 (10分)	休憩
10:35～11:05 (30分)	3. 医療安全支援センターの役割及び取り組み 安原孝啓 京都府健康福祉部医療課 医療課長 山本正子 京都府健康福祉部医療課 京都府医療安全支援センター相談員
11:05～11:20 (15分)	4. 医療介護連携に係る研究事業から見てきた高齢者の退院支援のあり方 ～安心安全のための情報共有の視点から～ 河本慶子 近畿厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課 上席地域包括ケア推進官
11:20～12:20 (60分)	昼休憩
第2部：パネルディスカッション	
12:20～12:25 (5分)	座長あいさつ 中島和江 大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 教授・部長
テーマ1：「患者参加型医療の推進」	
12:25～13:10 (45分)	5. 患者を巻き込んだチーム医療の実践 小松康宏 群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学 教授
13:10～13:55 (45分)	6. 患者・家族の視点で考える医療安全と対話推進 豊田郁子 患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋 理事長
13:55～14:05 (10分)	7. パネルディスカッション
14:05～14:15 (10分)	休憩

テーマ2:「チームで取り組む医療安全管理」～深く見る前に広く眺る～	
14:15～15:00 (45分)	8. 胸腔ドレーン接続部外れ問題への対応 木村亜紀子 広島大学病院 医療安全管理部 専任リスクマネージャー 副看護師長
15:00～15:45 (45分)	9. 生体情報モニターアラーム問題への対応 齊藤 実 独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院 中央臨床工学部 部長
15:45～15:55 (10分)	休憩
15:55～16:40 (45分)	10. インシデント再発防止のフォローアップ 新開 裕幸 大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 専任リスクマネージャー 看護師長
16:40～17:00 (20分)	11. パネルディスカッション
17:00～17:10 (10分)	総括 中島和江 大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 教授・部長
17:10～17:15 (5分)	閉会挨拶 川谷良秀 厚生労働省 近畿厚生局 健康福祉部長